

市政活動報告

良友会会報 あすなろ

発行者 良友会 発行責任者 井手口良一 事務局・大分市六坊北町 4485-5 電話番号 097-545-3458 FAX 番号 097-545-3477

ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
皆様方のご健勝とご家族の皆様のご多幸を祈念いたします。併せて大分市民の皆様のご多幸とご清栄をお祈りいたしますとともに、常に大分市民の暮らしの安寧を第一に心掛けて活動して参りますことをお誓い申し上げます。

さて、大分市に新市長を迎えて最初の新年を迎えました。世界が大きく動こうとしている時代を背景に、この極東の田舎町である大分市に住むわたしたちもまた、世界の動きに無縁ではられません。

国内だけを見渡しても、右傾化は安倍政権下の政府だけでなく、大資本の経営陣、メディア界、中央官庁の官僚たちにおいても顕著です。

一市議会議員として、目の前の市民の皆様のための市政を常に念頭に活動することはもちろんですが、地球の裏側を見てきたという経験を活かして、国政、県政に対してもブログやSNSを通して、ものを言っていくつもりです。それは決して別の政治活動を目指してのことではありません。

国際的なテロ一つをとっても、日本が、この大分が標的にならないという保証がなくなった今日の世界情勢を考える上で、わたしたちの日々の暮らしもまた、世界に、国政に直結しているということなのです。

どうかわたしの本意のある所をご理解いただき、本年も来年にやってきます戦いにも引き続きまして、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

井手口良一



12月8日(火)午後1時30分から登壇しました。

視点・論点・問題点

質問-1. 福祉保健行政

①独居高齢者の没後不安の解消のための支援を、どのように考えているか?

福祉保健部長答弁

他の自治体では没後の手続きの相談窓口を設置したり、社会福祉協議会が事前に預託金を預かって葬儀や家財処分などのサービスを行っているところもある。今後、他都市の状況を勘案しながら、その手法について調査研究していく。

井手口の視点

全国の独り暮らしの高齢者の41.2%の方が、没後問題に「心配がある」「多少心配がある」と感じています。その不安を解消することは大きな行政課題です。わたしも全国の先進事例を参考にしながら、高齢者の不安に寄り添って行きます。



交通安全協会金池支部の街頭キャンペーン

②精神障がい者の就労支援は標準期間という考え方を弾力的に運用出来ないか?

福祉保健部長答弁

障がい支援区分判定審査会が必要と認めれば最大

1年間更新できる。今後ともサービス提供事業者や相談支援事業所との連携を図って行く。

③障がい者と就労先をつなぐ長期の見守りサポートが必要ではないか？

福祉保健部長答弁

国は本年度から就労後最大3年間の見守りが可能とした。就労支援を行う関係機関と連携して就労後の支援にも取り組んでいく。

井手口の視点

障がい者の就労移行支援事業は障がい者総合支援法に定められた事業の一つです。就労を志す障がい者に対し、就労に必要な知識・能力の向上を目的とした訓練や準備、職場訪問など就職活動と就職後の定着支援などがあります。

ただ、精神障がい者や、他の障がいを持っていて精神障がいも併発している障がい者の場合、その状況は一進一退する傾向にあり折角、自立できるところまで来ていても、目を離すと状態を悪化させてしまうケースが多く見られます。

就労先の企業などと障がい者本人のちょっとした行き違いなどで、本人は退職してしまう、企業の側も障がい者への不信感を抱いてしまうという事例は後を絶ちません。自立後の逆戻りを予防する支援事業を充実するため、障がい者と就労先をつなぐサポート体制を充実させるべきと考えています。

④福祉関係職員が虐待情報などを内部告白することで、不利益をこうむらないようにするための、指導監査体制はどうなっているか？

福祉保健部長答弁

法を順守し、自らの良心に基づいて通報した福祉施設従事者が不利益を被ることの絶対のないよう、各事業者に厳正に指導していく。

井手口の視点

福祉職員が虐待情報を通報したり内部告白することは、法で義務として規定されているだけでなく、事業者のコンプライアンスとしても義務付けられています。しかしながら、法にはその通報者を守るための条項がありません。法で定められた義務を遂行することで不利益を被るようなことがあっては、法治国家としての健全な社会は崩壊してしまいます。そうならないようこれからも徹底して見守っていきます。

質問－2. 防災機器管理行政

①発災もしくはその緊急予報情報の第一報を、どのような受信体制のもとに受信するのか？

総務部長答弁

気象庁などからの情報は大分県防災情報システムで本市に伝達される。その回線が被災した場合は防災無線ファックスで伝達される。国交省からの水防情報は電子メールで伝達されるとともに、担当者から直接電話で確認が行われる。

災害の危険性が著しく高まった場合は、気象台長や大分河川国道事務所長と市長の間にホットラインを開設することとなっている。

井手口の視点

本年、栃木・茨城県内を流れる鬼怒川が氾濫した際、常総市の初動体制の遅れについて批判が集中しました。堤防が決壊した後で避難勧告が出てても手遅れであることは誰でも分ることです。気象台や国県などからの防災・危機管理関連情報の第一報がどれだけ重要な防災情報であるか、防災担当者は認識を持たなくてはなりません。



鬼怒川氾濫の報道写真、堤防決壊の恐怖です。

②大分市のタイムラインの整備状況はどうなっているか？

総務部長答弁

平成26年7月に大分川、大野川を対象として国交省大分河川国道事務所・大分地方気象台と共同でタイムラインを作成した。今後、台風などの際に検証を行い、内容の充実を図って行く。

井手口の視点

タイムラインでは発災時（ゼロアワー）までに、防災担当者や消防団員自らも安全に避難が完了していなければなりません。

東日本大震災の際、自衛隊員が2人、消防隊員27名、警察官30名が殉職され、消防団員に至っては254名もの方々が殉職されています。

大分市のタイムラインにおいても、消防団員など地域のボランティアの安全確保も併せて図る必要があることを指摘しました。

③大分市でもVMAT（災害派遣獣医療チーム）を創設するべきではないか？

総務部長答弁

今後VMAT創設の可能性について、大分県や関係機関等と協議を行っていききたい。

井手口の視点

国は災害が発生した場合、可能な限りペット同伴での避難を勧めるようになりました。

ペット、特に犬と同伴の避難の場合、ペットを飼っている方の側にも、節度ある準備態勢が求められます。ペットの飼い主は日頃から無駄吠えをしないなどの躾を徹底すること、迷子になることを想定して飼い主への連絡方法などを身に付けさせること、用便のためのグッズや餌などを入れた非常用持ち出し袋を用意しておくことなどもマナーとして知っておかなくてはなりません。

しかしながら、想定を上回るような大災害の場合、飼い主が特定できないペットが多数発生することでしょうし、けがや病気になるペットもです。国は自治体に「災害時動物緊急保護施設」の設置を求めています。そのためにも災害派遣獣医療チーム（VMAT）の設置は災害対策として必要になりました。

質問－3. 事務事業管理体制

①市の施設の休業日について統一した考え方による設定基準を設けるべきではないか？

総務部長答弁

市民サービス向上の観点から、市の施設の休業日の在り方について検証していききたい。

井手口の視点

大分市には市が設置した多くの施設や出先機関があります。その施設の運営形態が、直営、一部業務委託、全部業務委託、指定管理者による運営などと多岐にわたるようになり、休業日（閉館日）に違いが生じる等になりました。同じ市の施設でありなが

ら休業日の設定基準がまちまちなのは混乱の元です。年中無休に近い施設と、そうでない施設の差も市民の不満となっています。

全ての市の施設の休業日について、統一した考え方による設定基準が必要なのです。

質問－4.

①ライフパルがどういう施設であるか、市民と認識を共有するべきではないか？

市民部長答弁

市民よりライフパルの利用拡大について希望が寄せられていることから、中心市街地のにぎわいづくりも念頭に置きながら、さらなる有効活用に向けて検討していききたい。

井手口の視点

ライフパルはもともと宮崎太陽銀行大分支店でした。そこが閉店する時、大分市が買い取り、経済（エコノミー）と環境（エコロジー）を合わせて考えるための市民協働の拠点施設エコプラザを開設し、NPO法人に業務委託しました。それを直営施設ライフパルを開設したのです。現在は市民協働の拠点施設でもあり、市民協働推進課の業務のための施設でもあります。そのため市の側の施設に対する考え方と、市民の側からの施設に対する考え方や期待感の間に齟齬が生じるようになりました。わたしはライフパルの施設運営について、市民と共に検討し、今後の運営方法や活用先について市民と認識を共有すべきだと考えています。

②交通指導員の確保のための待遇改善を図るとともに、業務の軽減を図るべきではないか？

市民部長答弁

交通指導員は重要な役割を果たしているが、その確保に困難さが増している。交通指導員制度を維持していくために、指導員の負担軽減を視野に入れて総合的な検討を進めていく。

井手口の視点

交通指導員さんは子どもたちの毎日の通学路の安全確保や、七夕祭りのような市民イベントの際の交通指導に当たって下さっています。

しかしながら、交通指導員さんたちの負担が重いという声が上がっています。特に祭りなどの交通指導では炎天下に一日中駆り出されることで、大変な負

担をお掛けすることになり、そのことによって、地域によっては交通指導員の確保にも事欠くような状況が起きています。

交通指導員は健全な地域コミュニティ形成のためになくてはならない存在です。交通指導員の確保のための待遇改善を図るとともに、業務の軽減を図らなくてはならないと考えています。

質問－5. マイナンバー導入についての不安解消体制

①マイナンバー(個人番号)制導入による、市民の皆さんの不安の解消のため、全庁的な体制づくりはどのようにしているのか？

企画部長答弁

庁内関係部署の相互連携を強固にし、関係機関と連携しながら、きめ細かく必要な相談・支援の体制をつくっていききたい。

井手口の視点

マイナンバー制度は既に多くの問題を発生させ、国民は混乱し、自治体はその対応に追われる状況を生み出してしまいました。

これから国民にとって、どんなメリットのある制度設計がされるのかは、自治体にとっては国の動向を注視することしかできません。

大分市としては市民のマイナンバー制度に対する現在の不信感を払しょくするとともに、そのデメリットとされている個人情報漏えいに対する不安が現実のものとならないよう、強固な体制をつくることしかありません。とりわけDV被害者、知的障がい者、認知症高齢者の個人番号の保護のための全庁的な体制は万全でなくてはならないと考えています。

質問－6.

①トイレンナーレを3年に一度開催するトリエンナーレとしてどうか？

企画部長答弁

3年後に大分県において開催される予定の国民文化祭との相乗効果によって、さらなるにぎわい創出を図るため、一体的な推進体制が必要であると考えている。

井手口の視点

トイレンナーレはアントレプレナー(職員提案)事業として立案され実施されました。トイレとア

トを結び付け、閉鎖空間とイメージされてきたトイレを文化的レベルの高いオープン空間に変えたということで全国的に注目され、なんと朝日新聞の「天声人語」でも高く評価されました。トイレンナーレという言葉は正に大分市から全国に発信された新造語となりました。トイレンナーレをこれで終わらせることなく、文化と芸術の香りの高い、地域活性化事業として継続するため、3年に一度、トリエンナーレ・トイレンナーレとして、話題作りを期待できるイベントにしたいと考えています。

質問－7.

①50周年という節目の年を迎えるに当たり、大分生活文化展の事業の名称・目的・開催方式などを、抜本的に見直すべきではないか？

商工農政部長答弁

本年設置した「大分生活文化展見直し特別検討チーム」からの報告や、昨年実施した市民アンケートの集計結果などを踏まえ、関係団体等と協議を重ねて、発展的な見直しを行って、市民ニーズや社会情勢に即した魅力あるイベントとしたい。

井手口の視点

生活文化展はわたしが中学生の時に第1回が開催されました。今年で第49回を数え、大分市の秋の風物詩として定着しています。しかしながら、長い間にマンネリ化も見られるようになりました。

わたしは大分市の伝統ある秋の一大イベントを今後とも発展的に継続していくためにも50周年という節目の年を迎えるに当たり、事業の名称・目的・開催方式などを、抜本的に見直すべきではないかと考えています。

質問－8.

①中一ギャップ解消の一助となるよう全中学校に小学校教員兼務職員を配置してはどうか？

教育委員会教育監答弁

学校や地域の実情に応じて、効果的な指導ができるよう小中学校の垣を越えて、相互の勤務が可能となる環境整備に努めていきたい。

井手口の視点

中1ギャップは小学校から中学校への環境変化に伴う学校生活への不適應の事で、教育現場の頭痛の

ためになっています。その中一ギャップ対策の一つの解決策が、中学校に在籍しながら校区内の小学校にも勤務する「兼務教員」です。

大分市でも中一ギャップ解消の一助となるよう、全中学校へ小中兼務教員を配置するべきと、私は考えています。

②小中学生の学力アップのため、脳力アップ運動プログラムを導入してはどうか？

教育委員会教育監答弁

教科の特性や活動の目的、児童生徒の実態や発達の段階に応じた、効果的なウォームアップ活動が行えるよう、各学校に指導していきたい。

井手口の視点

スポーツの前にする準備体操のように、学習への集中力を高めるために、始業前にウォームアップすることが学力向上に効果的であることが証明されています。大分市でもゲーム感覚で楽しくできる脳力アッププログラムを開発すべきと考えています。

③来年4月から実施する、学校医による整形外科的な定期健康診断項目についての、教育委員会の考えは？

教育委員会教育監答弁

学校医や保護者代表で構成する「大分市学校保健検討委員会」において、献身の実施方法などを協議し、その内容を精査する。

井手口の視点

元々、学校医による定期健康診断は結核やトラホームといった感染症の早期発見の効果を期待されて、眼科、耳鼻科、内科に限定して実施されてきたものです。

脊椎側弯症や低成長症などは確かにその後の子どもの成長に大きな影響を与えるものであり、その早期発見は重要な課題だと、わたしも認識しています。とはいえ学校医に、これ以上物理的、精神的、場合によっては賠償という経済的な負担をお掛けすることはできません。現場の実情を無視して実施すれば、多くの医師が学校医を返上するという事態にもなりかねないということへの、教育委員会の注意を喚起しました。

議員活動日誌

(平成27年10月1日～12月31日)

10月

1日(木) 大分市議会若年層との意見交換会
(明日香美容専門学校)



専門学校生と意見交換会(明日香美容専門学校)

4日(土) 金池校区運動会(来賓出席)

6日(火) 弘前市議会運営委員会視察対応

13日(火) 総務常任委員会行政視察
(宮崎市ミニポートピア)

14日(水)～16日(金)
議会運営委員会行政視察
(埼玉県所沢市・秋田県秋田市)

11月

10日(火) 大分市議会市民意見交換会
(コンパルホール会場)

11日(水) 大分市議会若年層との意見交換会
(大分県立大分南高等学校)
大分市議会市民意見交換会
(大分西部公民館会場・会場責任者)



高校生と意見交換会(閉会の挨拶・大分南高校)

この会報はワークスペース「樫の木」、小規模作業所「どんぐりの家」の皆さんに、折り加工と封入作業をお願いしています。

15日（日） 金池校区防災訓練（来賓出席）



初めて防災士として参加しました。

16日（月） 金池校区ボランティア協会交流会
（来賓出席）

17日（火）～19日（木）

おおいた民主クラブ会派政務調査視察（東京都葛飾区）、福島県福島市全国市議会議長会フォーラム

20日（金） 会派代表者会議
議会運営委員会

24日（火） 大分市優良技能者表彰式

29日（日） 金池1・2・3丁目町内会防災訓練

12月

7日（月） 27年第4回定例会本会議（一般質問）

8日（火） 一般質問（登壇）

二宮市議県知事表彰受賞祝賀会

9日（水）～11日（金）

総務常任委員会審議

14日（月） 本会議（採決・反対討論に登壇）

議員反省会

16日（水） 全国大会出場校激励会（市長室・議長室・同窓会）



中央通りの工事に関する補正予算案に反対するための討論に登壇しました。

反対討論の抜粋

—略—

市長は、本年9月に中央通り歩道拡幅検証委員会から提出されました検証結果報告書を予算上程の根拠としています。しかしながら、土木費予算に関する部分では「空間利用形態」について、交通に支障はないと結論しています。

また、市長は一旦撤去し、元の状態に戻す方針を決定したそうですが、道路空間の利用形態を決定する上での重要な要素となる2か所に集約しているバス停と、国道10号と接続する交差点部分については、引き続き各管理者と協議するとあります。その中には平面交差している横断歩道の位置や長さも含まれていますし、形態が変われば、当然信号機の時間調整も必要です。

—略—

つまり「この予算計上されている工事そのものに最終結論はまだでていない」ということです。

政治家である市長が選挙という洗礼を受けて、それまでの政策を180度変更することを否定するものではありません。しかしながら、予算執行に当たっての根拠としている検証委員会の報告書は、現状でも交通に支障はなく、渋滞の原因とはなっていないということですから、現状のまま、計画の策定を市長の主導で継続して行い、その結論に従って現行の仮設から、本工事に移っても支障はないではありませんか。

基盤整備である道路の新設改良工事は本来、道路の利便性、安全性、災害対策等を期して行われるものです。

「グランド・デザイン」や「中心市街地のにぎわい創出のためのまちづくり」についてのコンセンサスに裏付けされた最終案を策定するまでには、時間がかかることが予想されるかもしれませんが、「地方創生」に代表されるように、国も地方のにぎわい創出事業に積極的になっている背景も考慮すれば、今、拙速にわざわざ税金を使って、変える必要のない形状を変えれば、多くの大分市民の方々が、行政の市民サービスに対する責任とは別の、何らかの政治的な判断が働いているのではないかと疑念を持つこととなります。

交通に何ら支障のない形状を徒に変更する予算があるのなら、横断歩道などの薄くなった白線の引き直しや、必要な個所への防犯灯や街路灯の設置などに回すべきではありませんか。

予算執行のチェック機関としての議会人として、看過できない予算案と考えます。

—略—

あすなる

「あすなる」第61号

発行者 良友会 発行責任者 井手口良一 事務局・大分市六坊北町4485-5

電話番号 097-545-3458
FAX番号 097-545-3477

ご挨拶

明けましておめでとうございます。
皆様方と皆様方のご家族の、今年一年のご健勝とご清栄をお祈りいたします。
良友会会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。本年もまた変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。
昨年春は、県知事選はもちろん大分市長選も、井手口君にとっては不本意な結果となりました。彼にとって政治の世界の後ろ盾のない活動を強いられることになりましたが、本人は新しい環境にもめげずに、精力的な活動を続けています。
もともと所謂是々非々を通し、釘宮市長時代でも「市議会議員中、最も厳しい質問をするのが井手口だ」と市長がこぼしていたほどですが、本人に言わせると自分が「答弁者にとって一番優しい質問者」なのだそうです。
そんな井手口君が心置きなく市政活動に邁進できますよう、わたしたち良友会が彼を支え続けて行かなくてはならないと、わたしども世話人一同も、気持ちを一つにして頑張ることをお誓いいたします。
どうか、井手口君と大分市民のため、良友会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。
良友会代表代行 足立雅直

生態系攪乱外来語リスト

死語となってももらいたくない日本語を絶滅危惧語辞典にしてみました。一方で佳き日本語を絶滅させようとしている背景には、外国から侵入してわたしたちの社会生活を脅かしている言葉があります。これからは死語になりそうな日本語と、それを引き起こしている外来語を交互にリストアップしてみたいと思います。一緒に考えて頂ければ幸いです。

第1回

グローバル (global)

交通や通信技術の発達で、わたしたちはわたしたちの生活を地球規模で俯瞰できるようになりました。確かに地球規模で自分たちの暮らしや生活環境を見直すことは大切な視点です。

しかし、世界を同じ基準や価値観で統一しようとする意図や思惑が、グローバルという言葉の裏に隠されていると、多くの人が疑っています。

地球は宇宙の中では小さな星ですが、わたしたち人間にとっては、広く大きな正解です。そこには色々な価値観や文化、宗教観を持つ人々が住み暮らしています。世界中の人が皆、米国やそれに追随する日本のような暮らしを実現することが本当に幸福になる

ことかどうかを、今こそもう一度、一人一人が考えなくてはならないのではないのでしょうか。

バーチャル (virtual)

バーチャルとは本来「事実上の」という意味の形容詞でした。しかし、コンピューター技術の進歩が、この言葉の本来の意味を死語にしまい、まったく別の「仮想現実」という接頭詞にしまいました。パソコンやスマホで楽しむゲームや医療現場などでの技術開発などに使われるだけなら良かったのですが、今では世界経済を牛耳っています。

先物取引、デリバティブ、ヘッジファンなどという金が金を生む仮想現実の経済によって、わたしたちの現実の生活が脅かされるようになっていっています。

コラム 「進歩」について

ドローンという無人のヘリコプターのような小型飛行機が話題になっていますが、わたしにとっては「進歩」とは何かについて考えさせられることが多いこの頃です。ドローンはもともと兵器として開発され、民生への利用の範囲を広げてきたものです。

科学の進歩などと言っても、その全てがもとを辿れば、戦争から、兵火の中から生まれたものばかりです。医学の進歩のお蔭でわたしたちは伝染病で死ぬことも少なくなり、出産時の事故も極端に減りました。しかし、その医療技術さえもが戦場で傷を負った兵士をいかに早く戦線に送り返すことができるかという必要性から「進歩」したもののなのです。

戦争の犠牲となった人間の数は、16世紀に160万人だったのに対して、19世紀には1,940万人、20世紀には少ない統計資料(米国の年報)でさえ1億780万人です。しかも、16世紀に戦争で亡くなったのは、その殆どが兵士であるのに対して20世紀の戦争犠牲者は大半が一般市民なのです。

21世紀には科学技術の進歩のお蔭でどのくらいの人々が亡くなるのか、想像するだけで背筋が寒くなります。日本ではドローンは宅配便の件数節約や配達時間の短縮に活用することが検討されているようですが、既に中東では実際に、人の命を狙って飛び交っています。ドローンとは英語で「オスのスズメバチ」という意味なのですが、まさしく天空からピンポイントで襲ってくる「殺人バチ」と言えるでしょう。

技術「革新」や科学の「進歩」にブレーキをかけることは出来ないでしょう。しかし、どこかで一度立ち止まって、わたしたちの人間らしい生活にとって必要な「進歩」とは何かを考えてみる時ではないのでしょうか。

後援会などの活動日誌

(平成27年10月1日～12月31日)

10月

- 2日(金) イオン九州労連大分地区支部長会議
旭メディカル定期大会
U A ゼンセン政研フォーラム



イオン労連大分地区支部長会議での市政報告

- 3日(土) 戯曲ワークショップ受講
- 4日(日) 戯曲ワークショップ受講
- 7日(水) サウダージの会
- 9日(土) まちづくり情報カフェ参加
- 10日(日) 弁天水資源再生センター芋ほり大会
リレーフォーライフ
- 11日(月) リレーフォーライフ
- 17日(土) U A ゼンセン大分県支部年次総会
- 18日(日) ～11月6日
ブラジル旅行

11月

- 12日(水) ジョイフル労組年次総会
- 14日(土) フジボウ労組大分県支部年次総会
- 24日(火) 日本硫炭労組定期大会



日本硫炭労組定期大会での祝辞

- 26日(木) 大分市役所舞鶴会
- 27日(金) 連合大分大分地区協議会創立10周年記念祝賀会
安東調剤薬局忘年会

12月

- 5日(土) U A ゼンセン運営評議会
ホビータン忘年会(挨拶)
一土こん会例会

- 6日(日) 拉致被害者救済街頭キャンペーン
士道館師範会忘年会(挨拶)
- 11日(金) U A ゼンセン大分市選挙管理委員会への意見書提出に同行
- 12日(土) 連合大分議員懇談会総会
サウダージの会世話人会
- 13日(日) 大分県詩人協会県詩集編集会議
- 15日(火) 交通安全協会金池支部街頭活動
- 19日(土) ホビータン餅つき大会
赤十字一碗茶ボランティアチャリティー茶会



ホビータンで餅つき、次の日は筋肉痛でした。

- 24日(木) 交通安全協会金池支部街頭活動
- 27日(日) 詩誌心象同人会合評会・編集会議

良友会

〒870-0841 大分市六坊北町4485 - 5

☎ 097-545-3458

Fax 097-545-3477

E-mail kakashi@sweet.ocn.ne.jp

会費 一般会員 (年間・1口) 1,000円

賛助会員 (年間・1口) 10,000円

良友会名義の口座番号(普通預金)

大分銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 5036576

豊和銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 1035694

ゆうちょ銀行 「いでぐち良一後援会」良友会 17290-12491381

大分県信用組合 津留支店 「いでぐち良一後援会」良友会 4041214

皆様の過分のご協力に感謝いたしております。いつも本当にありがとうございます。

いでぐち良一後援会「良友会」
大分市議会議員 井手口良一

後援会事務所においでの際は、議会・委員会や出張などもありますので、事前に電話かメールでお知らせください。



編集
後記

激動の1年だった割には穏やかな年明けとなりました。これから世界が日本がどうなっていくのか、漠とした、しかし心底から払いのけることのできない不安が募るばかりです。それだからこそ、少なくともこの大分市の多くの皆さんに笑顔で過ごして頂けるよう頑張ることを、神仏にお誓いしてきました。(I)